吹上地域包括支援センター　担当

- 日　　時：　令和８年6月１6日（火）午後１時 53 分～2 時 17 分
- 会　　場：　栃木市役所
- 事 例 数：　１ケース（令和７年１２月１6 日に検討した事例の振り返り）
- 参加者数：　１１名

［事例提供者１名、助言者７名、包括職員２名
傍聴者１名］

転倒を繰り返しているため、生活意欲の低下がみられるが、独居生活を希望している90歳女性

〈目標〉1日：転ばないように気を付けて過ごす。

1年：娘さんや息子さんと出かけたり、孫たちとも会う。

利用サービス：訪問介護、通所型サービス、介護予防福祉用具貸与

《前回会議での支援策》

支援方針

・家族の協力や介護保険サービスを利用し、在宅生活を続ける。

・歯科医院受診を促し、義歯を作り直すことを勧め、栄養改善を図る。

助言内容

① 下肢の浮腫みへの対応は、足を高くして寝るだけでも改善される。

② 年齢的なこともあるため、機会があれば、ＡＣＰ会議をして、最期を確認できると良い。

③ 歯科医院を受診し、義歯を作り直すことを勧める。

④ かかとの上げ下げやタオルを使った万歳運動を本人ができる範囲で行う。

⑤ 90 歳は食事をおいしく食べることが重要。食事制限より、ゆで野菜（色の付いたもの）や牛乳等を足してみるなどのちょっとした工夫で栄養バランスを整える。

《支援結果・状況》

① 達　成：下肢の浮腫みの改善がみられるようになった。

② 未達成：ＡＣＰ会議を開催できず、本人の望む最期を確認できなかった。

③ 未達成：本人が受診の必要性を感じず、家族に相談しないため受診に至っていない。

④ 達　成：毎日ではないが、自宅でできる簡単な運動を行うようになった。

⑤ 達　成：ゆで野菜を摂り、１日１杯の牛乳は飲んでいる。